

戦 評

大会名 平成29年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会
岩手県予選会（男子）

岡崎建設Owls	}	25	—	22	}	一関修紅高等学校
		25	—	19		
2年連続4回目						
	試合時間	時間		分		

主 審 及川 晃弘

副 審 遠藤 哲也

戦 評

1セット目序盤、岡崎建設Owlsは石川のスパイクやブロックでリズムに乗った。

対する一関修紅高等学校はエースのスパイクで反撃し、追いつけるも最後まで、相手のレセプションを崩せず、多彩な攻撃を持つ岡崎建設Owlsがこのセットを先取した。

2セット目、終盤まで一進一退の攻防がつづく。一関修紅は高さのあるブロックで岡崎建設Owlsのスパイクを止めるも最後は、強弱を織り交ぜた岡崎建設Owlsの攻撃が決まりこのセットも取った。

岡崎建設Owlsは2年連続4回目のブロックランド出場権を得た。

※ 7～10行にまとめること。

戦評者 手島 瑞夫

岩手県バレーボール協会